

佛説阿彌陀經

姚秦三藏法師鳩摩羅什奉詔訳

○第一

① かくのごときを我れ聞きき。② 一時、佛、舍衛国の祇樹給孤獨園に在して、③ 大比丘衆千二百五十人と俱なりき。④ 皆これ大阿羅漢なり。衆に知識せられたり。⑤ 長老舍利弗・摩訶目犍連・摩訶迦葉・摩訶迦旃延・摩訶俱絺羅・離婆多・周利槃陀伽・難陀・阿難陀・羅睺羅・憍梵波提・賓頭盧頗羅墮・迦留陀夷・摩訶劫賓那・薄拘羅・阿菟樓駄、⑥ かくのごとき等の諸もろの大弟子なり。⑦ ならびに諸もろの菩薩摩訶薩あり。⑧ 文殊師利法王子・阿逸多菩薩・乾陀訶提菩薩・常精進菩薩、⑨ かくのごとき等の諸もろの大菩薩、⑩ および釈提桓因等の無量の諸天大衆と俱なりき。

○第一 序分(二)

- ① 証信序
- ② 發起序四、起化時
- ③ 標之化主
- ④ 遊化処
- ⑤ 明ニ徒衆(三)、声聞衆四、示レ教

○第二

○第二 正宗(二)

- ⑥ 嘆之徳
- ⑦ 列名
- ⑧ 総結
- ⑨ 標レ数
- ⑩ 列レ名
- ⑪ 総結
- ⑫ 雜類衆

⑬ その時佛、長老舍利弗に告げたまわく。これより西方、十万億の佛土を過ぎて、世界あり。名づけて極楽という。⑭ その土に佛まします阿彌陀と号したてまつる。今現に在して説法したまう。舍利弗。かの土を何が故ぞ、名づけて極楽とする。その国の衆生、衆もろの苦あることなく、ただ諸もろの楽のみを受く、故に極楽と名づく。

⑮ また舍利弗。極楽国土には、七重の欄楯、七重の羅網ある、七重の行樹あり。皆これ四宝をもて、周市し圍繞せり。この故にかの国を名づけて極楽という。

⑯ また舍利弗。極楽国土には、七宝の池あり。八功德水、その中に充滿せり。池の底には純ら金沙をもつて地に布けり。⑰ 四辺に階道あり。金・銀・瑠璃・玻瓈をもつて合成せり。⑱ 上に樓閣あり。また金・銀・瑠璃・玻瓈・碓磝・赤珠・碼瑙をもつて、しかもこれを嚴飾せり。⑲ 池の中に蓮華あり。大きき車輪のごとし。青色には青光あり。黄色には黄光あり。赤色には赤光あり。白色には白光あり。微妙香潔なり。舍利弗。極楽国土には、かくのごときの功德莊嚴を成就せり。

⑳ また舍利弗。かの佛の国土には、常に天樂を作す。黄金を地とせり。㉑ 昼夜六時に、曼陀羅華を雨らす。その国の衆生、常に清旦をもつて、各おの衣襪をも

⑬ 極楽依正(二)、総標二依

正(三)、明告勅

⑭ 標依報

⑮ 標二正報、

⑯ 別積二依正(二)、積二依

報(二)、略積二名義一

⑰ 広明二勝相一(四)、拳二欄

網樹一顯レ名

⑱ 池閣蓮華莊嚴(五)、池水

底沙

⑲ 池畔階道

⑳ 階上樓閣

㉑ 池中蓮華

㉒ 結二成莊嚴一

㉓ 天樂

㉔ 金地

㉕ 雨華

㉖ 供佛

つて、衆もろの妙華を盛れて、他方十萬億の佛を供養す。すなわち食時をもつて、還つて本国に到つて、飯食し経行す。舍利弗。極樂国土には、かくのごときの功德莊嚴を成就せり。

また次に舍利弗。かの国には常に種種奇妙なる雑色の鳥あり。白鶴・孔雀・鸚鵡・舍利・迦陵頻伽・共命の鳥なり。この諸衆の鳥、昼夜六時に、和雅の音をいだす。その音、五根・五力・七菩提分・八聖道分、かくのごとき等の法を演暢す。その土の衆生、この音を聞きおわつて、皆悉く佛を念じ、法を念じ、僧を念ず。舍利弗。汝、この鳥は、実にこれ罪報の所生なりと謂うことなかれ。所以は何ん。かの佛の国土には、三惡趣なければなり。舍利弗。その佛の国土には、なおし三惡道の名もなし。何にいわんや実あらんや。この諸衆の鳥は、皆これ阿彌陀佛の、法音をして宣流せしめんと欲して、變化して作す所なり。舍利弗。かの佛の国土には、微風吹いて、諸もろの宝行樹、および宝羅網を動かして、微妙の音を出だせり。譬えば百千種の衆を、同時に俱に作すがごとし。この音を聞く者は、皆自然に念佛念法念僧の心を生ず。舍利弗。その佛の国土には、かくのごとききの功德莊嚴を成就せり。

舍利弗。汝が意において云何。かの佛を何が故ぞ阿彌陀と号したてまつる。舍

②7 飯食

②8 結成

②9 化鳥風樹莊嚴(一)、化鳥演法(四)、標衆衆鳥一

③0 列二鳥名一

③1 演二法音一

③2 所聞益

③3 去疑執(四)、遮非實報

③4 徵二問因由一

③5 答レ無三惡一

③6 通レ無二惡名一

③7 弁化現情一

③8 風樹演レ法(一)、風音(一)、

所触

③9 譬喩

④0 聞益

④1 結成莊嚴一

④2 明二正報(一)、教主(一)、

明三得名(二)、徵問

④3 釈通(一)、光明無量

り弗。かの佛の光明無量にして、十方の国を照らすに障礙する所なし。この

故に号して阿彌陀とす。また舍利弗。かの佛の寿命、およびその人民、無量無

辺阿僧祇劫なり。故に阿彌陀と名づけたてまつる。舍利弗。阿彌陀佛、成佛より

已來、今において十劫なり。また舍利弗。かの佛に無量無辺の声聞弟子あり。

皆阿羅漢なり。これ算数の能く知る所にあらず。諸もろの菩薩衆もまたかくのご

とし。舍利弗。かの佛の国土には、かくのごときの功德莊嚴を成就せり。

また舍利弗。極樂国土には、衆生生ずる者は、皆これ阿鞞跋致なり。その中

に多く一生補処あり。その数甚だ多し。これ算数の能く知る所にあらず。ただ、

無量無辺阿僧祇劫をもつて説くべし。舍利弗。衆生聞かん者は、まさに発願し

てかの国に生ぜん願すべし。所以は何ん。かくのごとき諸もろの上善人と俱

に一処に会することを得ればなり。舍利弗。少善根福德の因縁をもつて、かの

国に生ずることを得べからず。

舍利弗。もし善男子・善女人あつて、阿彌陀佛を説くを聞きて、名号を執持

すること、もしくは一日、もしくは二日、もしくは三日、もしくは四日、もしくは五日、も

しくは六日、もしくは七日、一心不乱なれば、その人命終の時に臨んで、阿彌陀佛、

諸もろの聖衆とともに、現にその前に在す。この人終わる時、心顛倒せず、

44 寿命無量

45 示二劫数一

46 徒衆(一)、総列二向衆(一)、

正列(一)、声聞衆

47 菩薩衆

48 結成

49 別顯三行功(一)、新生不

退衆

50 補処位高衆

51 念佛往生(一)、正念佛往

生(一)、修因(一)、発願

52 念佛(一)、簡二少善一

53 修二念佛一

54 感果(一)、聖衆來迎

55 行者往生

すなわち阿彌陀佛の極楽国土に往生することを得。舍利弗。我れこの利を見るが故にこの言を説く。もし衆生あつて、この説を聞かん者は、まさに発願して、かの国土に生ずべし。

舍利弗。我れ今者、阿彌陀佛の不可思議功德を讚歎するがごとく、東方にまた阿閼鞞佛・須彌相佛・大須彌佛・須彌光佛・妙音佛有す。かくのごとき等の恒河沙数の諸佛、各おのその国において、広長の舌相を出だして、徧く三千大千世界に覆いて、誠実の言を説きたまう。汝等衆生、まさにこの称讚不可思議功德一切諸佛所護念経を信ずべし。

舍利弗。南方世界に、日月燈佛・名聞光佛・大焰肩佛・須彌燈佛・無量精進佛有す。かくのごとき等の恒河沙数の諸佛、各おのその国において、広長の舌相を出だして、徧く三千大千世界に覆いて、誠実の言を説きたまう。汝等衆生、まさにこの称讚不可思議功德一切諸佛所護念経を信ずべし。

舍利弗。西方世界に、無量寿佛・無量相佛・無量幢佛・大光佛・大明佛・宝相佛・淨光佛有す。かくのごとき等の恒河沙数の諸佛、各おのその国において、広長の舌相を出だして、徧く三千大千世界に覆いて、誠実の言を説きたまう。汝等衆生、まさにこの称讚不可思議功德一切諸佛所護念経を信ずべし。

56 引証勸ニ信心(一)(來意)引証(四)、以ニ自証見ニ勸

57 引ニ他佛証ニ勸(一)、指ニ前自讚ニ

58 引ニ他佛証(六)、東方(四)、指ニ国土ニ

59 拳ニ佛名ニ

60 弁ニ多少ニ

61 明ニ証相ニ

62 明ニ証言ニ

63 南方(四)、指ニ国土ニ

64 拳ニ佛名ニ

65 弁ニ多少ニ

66 明ニ証相ニ

67 明ニ証言ニ

68 西方(四)、指ニ国土ニ

69 拳ニ佛名ニ

70 弁ニ多少ニ

71 明ニ証相ニ

72 明ニ証言ニ

舍利弗。北方世界に、焰肩佛・最勝音佛・難沮佛・日生佛・網明佛有す。

かくのごとき等の恒河沙数の諸佛、各おのその国において、広長の舌相を出だして、徧く三千大千世界に覆いて、誠実の言を説きたまう。汝等衆生、まさにこの

称讚不可思議功德一切諸佛所護念經を信ずべし。

舍利弗。下方世界に、師子佛・名聞佛・名光佛・達摩佛・法幢佛・持法佛有す。かくのごとき等の恒河沙数の諸佛、各おのその国において、広長の舌相を出だして、徧く三千大千世界に覆いて、誠実の言を説きたまう。汝等衆生、まさに

この称讚不可思議功德一切諸佛所護念經を信ずべし。

舍利弗。上方世界に、梵音佛・宿王佛・香上佛・香光佛・大焰肩佛・雜色宝華嚴身佛・娑羅樹王佛・宝華德佛・見一切義佛・如須彌山佛有す。かくのごとき

等の恒河沙数の諸佛、各おのその国において、広長の舌相を出だして、徧く三千大千世界に覆いて、誠実の言を説きたまう。汝等衆生、まさにこの称讚不可思議功德一切諸佛所護念經を信ずべし。

舍利弗。汝が意において云何。何が故ぞ名づけて一切諸佛所護念經とする。舍利弗。もし善男子・善女人あつて、この諸佛所説の名、および經の名を聞かん者は、この諸もろの善男子・善女人、皆一切諸佛に共に護念せられて、皆、阿耨多

73 北方(四)、指二国土

74 拳二佛名

75 弁二多少

76 明二証相

77 明二証言

78 下方(四)、指二国土

79 拳二佛名

80 弁二多少

81 明二証相

82 明二証言

83 上方(四)、指二国土

84 拳二佛名

85 弁二多少

86 明二証相

87 明二証言

88 示現当益勸(一)、約經名勸(二)、徴二經名

89 答二經名(一)、聞持利益

羅三藐三菩提を退転せざることを得。<sup>91</sup> この故に舍利弗。汝等皆、まさに我が語、  
 および諸佛の所説を信受すべし。舍利弗。もし人あって、すでに発願し、今発願  
 し、まさに発願して、阿彌陀佛国に生ぜんと欲せん者は、この諸人等、皆阿耨多  
 羅三藐三菩提を退転せざることを得て、かの国土において、もしはすでに生じ、  
 もしは今生じ、もしはまさに生ぜん。この故に舍利弗。諸もろの善男子・善女  
 人、もし信ずることあらん者は、まさに発願して、かの国土に生ずべし。  
<sup>94</sup> 舍利弗。我れ今者、諸佛の不可思議功德を称讃するがごとく、かの諸佛等も  
 また我が不可思議功德を称説して、この言を作したまわく。釈迦牟尼佛、能く  
 甚難希有の事をなして、能く娑婆国土、五濁悪世の、劫濁・見濁・煩惱濁・衆  
 生濁・命濁の中に於いて、阿耨多羅三藐三菩提を得て、諸もろの衆生のため  
 に、この一切世間、難信の法を説くと。舍利弗。まさに知るべし。我れ、五濁  
 悪世において、この難事を行じて、阿耨多羅三藐三菩提を得て、一切世間の為  
 に、この難信の法を説く。これを甚難とす。佛。この経を説きおわりたまう  
 に、<sup>97</sup> 舍利弗、および諸もろの比丘、一切世間、天・人・阿脩羅等、佛の所説を聞  
 きて、歡喜し信受して、礼を作して去りき。

佛説阿彌陀經

91 勸レ信

92 約ニ願生レ勸(二)、三因三

果

93 發レ願令レ生

94 挙ニ諸佛讚レ勸

95 総結ニ成勸進

○第三 流通(三)

96 結レ前生レ後

97 聞法行人

98 正奉行相

